

<p style="text-align: center;"><b>国語Ⅱ ( JapaneseⅡ )</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>2年・通年・3単位・必修</b></p> <p style="text-align: center;"><b>5学科共通</b></p> <p style="text-align: center;">担当 現代文 鍵本 有理 古典 松井 真希子</p>	
<p style="text-align: center;">〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (3)</p>		
<p>〔講義の目的〕</p> <p>国語には二つの面がある。一つは、文章を読んでその登場人物の気持ちに共感できる、あるいは書いてある内容を理解するという。これにはまず受講生一人一人が人間として「生きている」ということが大切である。また、自分の心の中で「わかった」と思っている人にも人によっては伝わらない。「こういう気持ちだ」「つまりこういうことだ」と言葉で表現できて、初めて「わかった」ということになる。この二つをふまえて、「考える」「読む」「書く」「話す」ことを目指す。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>高等学校第2学年に相当する国語の力を身につけるため、高等学校用の教科書を使用し、いろいろな文章を読んで様々な角度から物事を考える。そして、その内容を言葉でまとめ、ノートや文章に「形として」残していくようにする。</p> <p>週3時間のうち、2時間を現代文、1時間を古典（古文・漢文）の時間に当てる。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>まず授業を「聞く」こと。授業中の発問を自分で考え、その過程を残した「わかる」ノートを作ることも必要である。また漢字や語句についての課題を出すので、必ずすませておくこと。</p> <p>古典については毎時間予習をすること。教科書の本文を写し、大事な注なども写しておくことよい。自分で現代語訳できるところは訳しておき、意味がわからないと思ったところを授業で集中して聞くようにするとよく理解できる。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p><b>前期中間試験：</b> 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける。2) 評論・小説の主題がつかめる。 3) 古文を正確に音読できる。4) 古文の内容を現代語でまとめたり表現したりすることができる。</p> <p><b>前期末試験：</b> 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける。2) 論理的な文章の構成・小説の主題がつかめる。3) 漢文訓読の知識を身につける。4) 漢文の内容を正確に現代語で表現できる。</p> <p><b>後期中間試験：</b> 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける。2) 評論の主張が把握できる。 3) 手紙の形式を理解する。4) 詩を味わう。 5) 古典作品の時代背景、主題を理解する。</p> <p><b>学年末試験：</b> 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける。2) 人物の置かれた状況が読解できる。 3) 古典常識についての知識を身につける。4) 古文の内容を正確に現代語で表現できる。 5) 古典の敬語について理解する。</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>定期試験成績（65％）を基本とし、これに課題提出（20％）、授業中の音読・発表等の態度や漢字テスト（15％）を加えて総合的に評価を行う。</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>「現代文B」第一学習社、「標準古典B」第一学習社</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p> <p>「新国語便覧」第一学習社、「高校漢字必携」第一学習社、配布プリント</p> <p>「完全マスター古典文法準拠ノート〈実力養成〉」第一学習社 ※国語辞典を一冊準備しておくこと</p>		
<p>〔関連科目〕</p> <p>国語は全ての科目の基礎といえる。歴史や倫理学だけでなく英語の勉強、各科目のレポート作成、数学の論理的思考とも関連するので留意すること。</p>		

## 講義項目・内容

週数	現代文講義項目	講義内容	古典講義項目	講義内容	自己評価*	
第1週	ガイダンス	ノートの取り方説明 本について・国語力について	ガイダンス 説話(1)『十訓抄』	ノートの取り方説明 「文字一つの返し」		
第2週	評論	『美しい』を探す旅に出よう①	説話(2) 『古今著聞集』	「大江山」		
第3週	小説	同上②	『竹取物語』(1)	竹取物語概説・「火鼠の皮衣」①		
第4週	小説	中島敦 「山月記」①	『竹取物語』(2)	「火鼠の皮衣」②		
第5週	小説	同上②	『竹取物語』(3)	「かぐや姫の昇天」①		
第6週	小説	同上③	『竹取物語』(4)	「かぐや姫の昇天」②		
第7週	小説	同上④	『竹取物語』(5)	「かぐや姫の昇天」③		
第8週	前期中間試験解説 短歌と俳句	「創作の楽しみ・短歌と俳句」	前期中間試験解説 漢文の基本	漢文に関する1年次の復習		
第9週	短歌と俳句	同上②	故事・寓話(1)	「助長」		
第10週	評論	「日本語史の『当たり前』」	故事・寓話(2)	「推敲」		
第11週	評論	同上②	項羽と劉邦(1)	「鴻門之会」①		
第12週	評論	同上③	項羽と劉邦(2)	同上②		
第13週	小説	恩田陸 「骰子の七の目」	項羽と劉邦(3)	同上③		
第14週	小説	同上②	項羽と劉邦(4)	同上④		
第15週	小説	同上③	項羽と劉邦(5)	同上⑤		
前 期 末 試 験						
第16週	前期末試験解説 評論	「日本人の『顔』」	前期末試験解説 『徒然草』(1)	「公世の二位のせうとに」		
第17週	評論	同上②	『徒然草』(2)	「相模守時頼の母は」①		
第18週	手紙文	手紙の書き方(礼状作成)	『徒然草』(3)	同上②		
第19週	評論	「働かないアリに意義がある」	『徒然草』(4)	「吉田と申す馬乗り」		
第20週	評論	同上②	『方丈記』(1)	「ゆく河の流れ」①		
第21週	詩	茨木のり子の詩	『方丈記』(2)	同上②		
第22週	詩	宮沢賢治の詩	『方丈記』(3)	「安元の大火」①		
第23週	詩	長谷川龍生の詩	『方丈記』(4)	同上②		
第24週	後期中間試験解説 小説	夏目漱石 「こころ」①	『方丈記』(2)	源氏物語概説・「光源氏誕生」①		
第25週	小説	同上②	『源氏物語』(3)	同上②		
第26週	小説	同上③	『源氏物語』(4)	同上③		
第27週	小説	同上④	『源氏物語』(5)	「小柴垣のもと」①		
第28週	小説	同上⑤	『源氏物語』(6)	同上②		
第29週	小説	同上⑥	『源氏物語』(7)	同上③		
第30週	小説	同上⑦まとめ	『源氏物語』(8)	同上④		
学 年 末 試 験						

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった。  
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)